

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 4 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	3	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	6	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	4	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	4	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>見学やお試し利用を通して雰囲気を感じていただき、利用開始前のサービス担当者会議では、本人・家族が今一番困っていること、必要としていることを確認した。</p> <p>利用開始後は訪問や送迎時、あるいは連絡帳の活用により、家族に利用中の様子を伝えるなど情報交換を行い、安心できるよう笑顔で優しく声掛け行うなど信頼関係づくりに努めた。</p> <p>職員会議やミーティングでは、今必要な支援はなんであるか、常に検討を重ねながら支援を行った。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 4 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	6 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	日々の関わりから新たに気づいた事はスタッフ全員で共有し、本人の思いに沿う統一した支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関わりの中で変化に気づいたときは、ミーティング、カンファレンス等で情報を共有し支援行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	8	0	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	6	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	0	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	5	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「自宅での生活を続けたい」「地域との関わりを大事にしたい」「お風呂に入りたい」等、本人の思いや目標を聞き合い、スタッフ全員が本人の意向に沿った支援の提供に努めた。また、成功した対応や新たに気づいた事は会議やミーティングで発言し、統一した支援ができた。 認知症等の障害により意思表示できない利用者においては、表情やしぐさなどから本人の望みや思いを汲み取りながら支援行った。 各利用者に合わせ作成した個別支援計画に沿って、レクリエーションや機能訓練を行い、実施した支援は記録に残した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月4日(17:00～18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模スタッフ10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	0人	0人	10人

前回の改善計画	「以前の暮らし方」についての情報の少ない利用者は、まずは今の暮らし方を理解し、気持ちや体調の変化に気づいたときは、ミーティングや会議を通してチーム全体で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	気持ちや体調の変化に気づいたときは、スタッフ間で情報を共有し、利用者の「今」に合わせた支援になるよう検討した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	3	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	2	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	3	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の今の状況に合わせ、過度な介護にならないよう配慮した。介護士、看護師、ケアマネ等、多職種間で連携を図りながら身体状況の観察に努め、変化があるときは家族と連携し医療機関の受診等、迅速に対応した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
訪問のみの利用者は、関わる時間も少なく、「以前の暮らし方」の情報を十分に聞き出すことができていない。 認知症等の障害による声にならない声については、本人の思いを十分把握することができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
認知症等の障害で意思疎通困難な方は、家族や関わりの深い方から、サービス担当者会議等の機会に「以前の暮らし方」の情報をいただき支援につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 4 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	独居者などのサービス担当者会議には、可能な限り担当の民生委員の方や支援者に参加していただき、情報交換を密にして本人の今の暮らしを支える支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	独居者のサービス担当者会議には、可能な限り担当の民生委員の方に参加していただき、情報を共有しながら住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	1	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	10	0	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	3	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人や家族との関わりを通して友人や支援者等の人間関係や社会資源を把握し、支援の協力や役割り分担を明確にしている。また、地域行事への参加や馴染みの商店や理美容店の利用など、地域との関係性が途切れないよう支援行った。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 民生委員の方など、家族以外の関わりを把握するための情報の収集に時間がかかる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 緊急時連絡シートに、家族以外に担当の民生委員の方や関わりの深い方を記載し周知を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 5 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	5	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	2	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	3	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	3	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>近隣住民、友人、ボランティア、町の配食サービス事業、調剤薬局等、地域資源と連携し支援行った。本人・家族のニーズに沿ったサービスを提供し、また、本人や介護者の体調に合わせ「通い」「宿泊」等、急な利用変更にも対応した。本人の変化に気づいたときは記録すると共に、ミーティング等で情報を共有し、家族と連携を図りながら医療機関の受診等、状態に合わせた支援行った。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 5 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

6. 連携・協働

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画	年 4 回開催の地域ケア会議には、スタッフが順番に参加し、できる限り多くのスタッフが参加・傍聴できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域ケア会議には、業務の都合等で、参加・傍聴することができないスタッフがいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	6	0	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	2	1	2	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	6	3	1	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	8	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問看護や福祉用具レンタル・購入においては、当該事業所と連携を図りながら支援行った。地域包括支援センター主催の地域ケア会議へは、事例発表及び傍聴に参加した。公民館等の集会場で、町と協働しての認知症サポーター養成講座を開催した。毎月 11 日には、介護相談を兼ねた認知症カフェを開催し、地域の方々に参加していただいた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 業務の都合等により、地域ケア会議に参加や傍聴ができなかったスタッフがいる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 年 4 回開催の地域ケア会議には、可能な限りスタッフ全員が参加・傍聴できるよう努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 5 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

7. 運営

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	0	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>定期開催の職員会議やミーティング等、提案や意見など、スタッフが自由に発言できる環境が整っている。利用者・家族・地域の方からの意見や苦情に対しては、都度スタッフ全員で改善点等を検討した。</p> <p>総合防災訓練では、警察、消防、町関係者、近隣住民の方々から参加していただき、意見をちょうだいした。町と共催の認知症サポーター養成講座や近隣町内会の芋煮会への参加など、町や地域の方と一緒に取り組んだ。また、福祉避難所として町と協定を結んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 ( 17 : 00 ~ 18 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模スタッフ 10 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	8	2	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	2	0	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	6	4	0	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	3	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 全職員必ず 1 回以上は研修会に参加し、得た知識を伝達することで、事業所全体の質の向上に繋がった。 また、伝達研修により学習も深まった。 地域包括支援センター主催の地域ケア会議には、事例発表や傍聴含め毎回参加し、ケアマネ連絡会にも毎回参加した。 リスクマネジメントについては、委員会を毎月開催し、発生事故毎に検証行い、再発防止に取り組んだ。 また、身体拘束、危険予知等の勉強会を開催し予防に努めた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	--------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
---------------	-----------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月6日(17:00～18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模スタッフ10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	『成年後見制度』については、今後も勉強会を継続する。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護規定を遵守するとともに、個人情報の取り扱いについて職員へ伝達するための勉強会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	『成年後見制度』についての勉強会はまだ実施できていないが、今年度中の開催を予定している。また、個人情報保護の取り扱いについての勉強会を実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない (現在、小規模に身体拘束の対象者はいない)	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない (虐待は違法であり、いかなる虐待も行われていない)	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	7	3	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している (現在、成年後見制度を活用している方はいない)	0	4	1	5	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束の適正化及び高齢者虐待防止については、リスクマネジメント委員が中心となり、スタッフ各々が法令違反であるという意識を持ち、法令遵守を徹底した。トイレや入浴介助の際は、しっかりと扉を閉める等、本人が「恥ずかしい」「いやだ」と感じることをないように、プライバシーに配慮したケアを行った。成年後見制度が必要と思われる方には利用を勧め、地域包括と協力して利用方法を伝えた。ケース記録や写真、業務上知り得た個人情報は、守秘義務として管理を徹底した。年度当初、新採職員研修の際、プライバシー保護の研修を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を活用している利用者はいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人舟和会	代表者	伊藤 宏	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所は、利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるよう、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域とのつながりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほなみ	管理者	高橋 純康		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の生活歴や趣味、嗜好等について聞き取る項目を決めたシートを作成する。そのシートを基に、その人となりを掘り下げ、より良い関わり方を見つけ支援につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シートは作成できず、聞き取りもできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりがしっかりと自己評価しており、その姿勢はとても評価できる。</li> <li>家族も含めて地域全体が、本人の暮らしを支える社会資源だということが分かった。</li> <li>成年後見制度について、現在活用している利用者がいないのであれば、「できている」「できていない」の評価だけでなく、「該当しない」という項目を設けるなどしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りシートをできるだけ早くに作成し、利用者を深く理解してより良い支援に繋げるために活用する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き地域住民の方の作品等を展示し、集いの場となるよう情報を発信していく。</li> <li>離設等の重大事故防止の為、職員配置の変更、人感センサーの設置など、その時々利用者の状況に応じて最善の対処法を検討、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や地域の方の作品等を展示し、集いの場を提供した。</li> <li>これまでの対処法を実践したが、今年度も8月に離設事故が起きてしまった。すぐに再発防止策を講じ、以降は離設事故は起きていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の展示スペースを設け、地域住民も自由に見学できるなど事業所に入りやすい工夫がされている。</li> <li>施設特有の不快感な臭いや音もなく、とても清潔に感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品展示スペースの活用について、地域に情報を発信し周知に努める。</li> <li>今後も事業所内外の衛生管理に努め、清潔な環境を提供する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェの開催や町主催の認知症サポーター養成講座に職員を派遣して協力するなど、地域の社会資源としての周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に認知症カフェを開催した。認知症サポーター養成講座には職員を派遣し、町に協力した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りや若あゆ祭り等の地域行事への参加、認知症サポーター養成講座への協力など、事業所と地域とのかかわりを感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度も引き続き地域の社会資源として周知を図っていく。</li> </ul>

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も本人の生活スタイルや人間関係の把握に努め、買い物や通院等の支援や地域行事への参加等継続し、地域との関わりを断ち切ることをしないよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、買い物の日を設定するなどして、利用者の暮らしの支援を行った。また、買い物や理美容、通院等、必要時は随時実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物や理美容、通院など、本人の今までの生活を断ち切らないよう支援を行っていることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度も、買い物や通院等の支援や地域行事への参加等継続し、地域との関わりを断ち切ることをしないよう支援する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は認知症カフェを毎月11日に開催し、介護相談の場、地域の心配な方々の相談の場、地域住民の集いの場を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェの開催や作品展示等で、地域の集いの場を提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催している認知症カフェで、なかなか人が集まらないのは問題があるのではないかと。認知症に対して予防的な関心が低く、本当に困った状態にならないと相談に来ないといった現実があるのではないかと。</li> <li>・認知症カフェに参加し、経験者の話などを聞かせてもらい大変参考になった。ほなみで今後も続けてもらいたいが、行政でも開催することを検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度も、認知症カフェを定期開催し、介護相談の場、地域の心配な方々の相談の場、地域住民の集いの場を提供する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度も関係者の協力を得ながら防災訓練を定期的に行い、有事の際は、スタッフ全員が適切に対応できるよう避難場所や誘導経路の周知に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の豪雨の際、裏山のがけ崩れの危険性が高まったため、えんじゅ荘へ避難誘導を行ったが、総合防災訓練での訓練内容が活かされたものとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほなみの防災訓練は毎年見学しているが、内容は充実しており、とても評価できる。今夏の豪雨災害では実際に避難しており、訓練がしっかり活かされたのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度も、関係者の協力を得ながら防災訓練を定期的に行い、スタッフ全員が適切に対応できるよう避難場所や誘導経路の周知に努める。</li> </ul>

